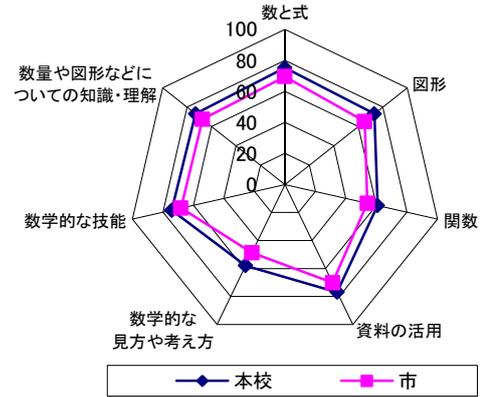


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	75.2	69.6
	図形	73.1	65.2
	関数	60.7	54.1
	資料の活用	76.9	70.3
観点別	数学的な見方や考え方	57.9	48.7
	数学的な技能	74.2	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	73.0	67.5



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域の本校の平均正答率は75.2%で、宇都宮市の平均を5.6ポイント上回った。 式の展開、因数分解、平方根の計算、因数分解を活用した2次方程式の解き方を問う設問については、高い正答率であるが、平方根の考えを使った2次方程式の解き方を問う設問については48.3%と低い正答率であり、全国平均を下回ってしまった。	計算力向上のため、わかりやすい授業と反復して問題を解く時間の確保に努める。また、平方根の考え方を使った2次方程式の解き方など、定着度の低い内容について復習の時間を設けるなど強化を図る。
図形	この領域の本校の平均正答率は73.1%で、宇都宮市の平均を7.9ポイント上回った。 各設問とも宇都宮の平均を2～16ポイント上回っており、図形の証明を記述する設問でも宇都宮市の平均を8.4ポイント、全国平均を15.6ポイント上回っている。この結果から、証明について理解し記述する力を身につけている生徒が多いと言える。	図形に関する力をさらに高めるため、図形を多様に見る活動や証明の問題においても様々な方法で証明する活動を取り入れていく。また、図形に関する基礎的な内容を確実に定着させるため、TTや習熟度別学習など、生徒の理解度に合わせた学習形態を取り入れる。
関数	この領域の本校の平均正答率は60.7%で、宇都宮市の平均を6.6ポイント上回った。 どの設問についても、宇都宮市の平均を上回っているが、 x の2乗に比例する関数に図形を応用させた設問では、33.8%と低い正答率である。このことから、関数について基礎的な知識・技能を身につけている生徒は多いが、関数を発展的に見る・考える力が不十分であると言える。	正答率からも、他の領域と比較して、関数を苦手としている生徒は多い。表、式、グラフ、値の変化を結びつけられるよう丁寧でわかりやすい授業に努める。また、関数と図形の応用問題を苦手としているので、授業の中で段階をおって解く時間を設けていく。TTや習熟度別学習など、生徒の理解度に合わせた学習形態を取り入れていく。
資料の活用	この領域の本校の平均正答率は76.9%で、宇都宮市の平均を6.6ポイント上回った。 どの設問も、宇都宮市の平均を3～9ポイント以上上回っており、確率に関する基本的な知識・技能を身につけていると言える。	確率に関しては多くの生徒が理解しているため、今後も生徒の実態に応じて授業を行っていく。生徒の学力をさらに向上させるため、確率に規則性をもたせた発展的な問題を授業の中で扱う時間を設けていく。